

研修報告

総務常任委員会 宮城県大河原町を視察

町職員が出前で

情報交換会を実施

去る11月5日、地方分権の時代の中、独自性を活かした特色ある取組みを行っている大河原町を視察してまいりました。



現在、少子高齢化などの社会的変化に加え、地方分権の推進により新しい行政運営が求められているが、大河原町では「管理」から「経営」への変革を目指し、まちづくりの計画段階から事業実施まで、住民と行政が情報を共有する協力体制を構築している。

- ・経営の手法や発想をもとに財政・人事などあらゆる構造改革
- ・「全ては住民の視点から」という意識改革と職員の専門的能力の向上

の3つを基本に、行財政運営全般の改革を進めている。住民に対する情報公開、情報共有

大河原町の概要

- 【人口】 23,544人
- 【世帯数】 8,727世帯
- 【面積】 25.01km²
- 【議員定数】 17人(現員15人)
- 【委員会】 2 常任委員会
議会運営委員会

今回の研修を終えて、大河原町の行財政改革の取組み、町の個性をみがき、協働をはじめとした新しいまちづくり、住民が主役のまちづくり事業は、今後の本町のまちづくりに大いに参考となる研修でありました。

また、元気なまちづくり活動支援補助金制度をつくり、住民の自主的なまちづくり活動に対し10万円を限度に交付し、住民との協働によるまちづくりを推進している。



住民自治の進展を図るため、5名以上のグループ等から、行政の仕事や、まちづくりに関する事業などの話を聞きたいと町職員が出

教育民生常任委員会

群馬県下仁田町を視察

少子化による

公立保育園の民営化を実施

去る10月23日、少子化が進行する中での保育園の管理運営のあり方を調査するため、下仁田町を視察してまいりました。

下仁田町は人口が年々減少し、少子高齢化が進んでいる。町内には5つの保育園(公立2園、私立3園)があるが、各保育園においても園児が減少している。町では交付税も年々減少し、町独自の施策が実施しにくくなっており、議会側からも民間でできる施策は民間でできないかと検討が求められていた。このようななか、公立下仁田保育園は町の中心にあり、長期的なことも考え下仁田保育園を存続し、財政面でも良い方法として民営化を考えた。

しかし、民営化に至るまでには様々な問題があった。まず、民間で保育園を運営できる最少園児数は20人までとなり、園児が減少しているなか、時間的な余裕もなく民営化を急いだ。職員の配置は、臨時職員に対してアンケートを行い、職場の選



下仁田町の概要

- 【人口】 9,961人
- 【世帯数】 3,558世帯
- 【面積】 188.27km²
- 【議員定数】 14人
- 【委員会】 3 常任委員会
議会運営委員会
広報発行対策特別委員会
ほか

今回の研修を終えて、全国的に少子化が進行する中で、下仁田町の保育園の民営化は、本町において今後の検討課題でもあり大いに参考となる研修でありました。



択をしてもらい、「民営化後の下仁田保育園」、「公立かぶら保育園」へそれぞれ異動となった。「かぶら保育園」では、地元住民の反対により民営化にすることができず、平成22年には廃園となる予定である。民営化にしたことで歳出の軽減を図ることができ、子育てや保育関係への予算に充当できるようになった。しかしながら、今後、民間保育園においても少子化による定員割れ等の問題や、それに伴い廃園となる保育園も出てくるのではと危惧されている。

産業建設常任委員会

新潟県長岡市を視察

都市部中学生の農家への
ホームステイ等を実施

去る10月21日、農業従事者の高齢化、農業生産物の低価格等による担い手の減少など、農業を取り巻く状況の厳しい中、地域ぐるみで農業の活性化に取り組んでいる長岡市菅畑地区を視察してまいりました。

長岡市菅畑地区は戸数88戸、人口約300人の稲作中心の中山間地域である。



農業生産は、平成18年に法人化した農業生産組合を組織し、機械、施設の有効利用による集落営農を行っている。

都市部中学生の農家へのホームステイ受け入れや、小学校と連携し、小学生には実際に農機具を使わせ、田植えやアスパラガスの植付け、野菜の収穫体験などを行っている。耕作放棄地は、地域住民総出で整備し、うど・コスモス・水芭蕉の植

長岡市の概要

- 【人口】 280,552人
- 【世帯数】 97,554世帯
- 【面積】 840.88km²
- 【議員定数】 38人
- 【委員会】 4常任委員会
議会運営委員会
まちづくり対策特別委員会
ほか

今回の研修を終えて、このような取組みは、地域の輪が薄れてきている現在、菅畑地区住民の和と絆の強さ、大切さを感じるとともに、今後の本町の農業振興を図る上で大いに参考となる研修でありました。



ど、地域農業維持発展のため様々な活動を行っている。

地区の入口には、都会の人が農業に興味を持ち、住み着いてもらいたいとの願いを込め、親しみをアピールする「田舎の親類村」の看板が掲げられている。

付けをして自然景観の維持に努めている。野菜は、お客さんにお客さんにも収穫してもらって販売する収穫直売の実施など、

小林宏議員に表彰状

関東町村議会協議会会長として、関東町村議会の充実発展に寄与された功績により、小林宏議員に関東町村議会協議会から表彰状及び茨城県町村議会協議会から感謝状が贈られました。



新年を祝う賀詞交歓会の開催

平成21年の新春を迎え、去る1月7日にコミュニティセンター城里町において交歓会が開催されました。



当日は金長町長、議会議員をはじめ町内各層の約150人が出席し新

春を寿ぎ、あいさつを交わし相互の交流をさらに深め、終始和やかな雰囲気の中、盛大に開催されました。

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。
今年も町民の福祉向上と城里町の限りない発展のために精一杯努力いたしますので、ご支援とご鞭撻を願います。



城里町議会議員一同

議会人事

松崎信一議員より議長宛に辞職願が提出され、平成21年1月5日付けで、議長が許可しました。